

新規試験法提案書

平成 25 年 1 月 20 日

No. 2012-05

皮膚感作性試験代替法 Local Lymph Node Assay (LLNA):DA の判定基準の変更に関する提案

平成 24 年 10 月 1 日に東京、国立医薬品食品衛生研究所にて開催された新規試験法評価会議（通称：JaCVAM 評価会議）において以下の提案がなされた。

提案内容：皮膚外用剤として用いる医薬品、医療機器、化粧品、皮膚適用の医薬部外品、農薬等に含まれる物質又はそれらの製品の皮膚感作性を予測する皮膚感作性試験代替法 Local Lymph Node Assay (LLNA)：DA は、RI を使用せずとも従来試験法と同等の結果が得られることから、行政上利用することは可能である。

この提案書は、米国 Interagency Coordinating Committee on the Validation of Alternative Methods (ICCVAM) LLNA: DA Evaluation Report (2010)、LLNA: DA の JaCVAM 評価報告 (2011) および OECD Test Guideline (TG) 442A をもとに、皮膚感作性試験代替法評価委員会によりまとめられた文書を用いて JaCVAM 評価会議が評価および検討した結果、その有用性が確認されたことから作成された。

以上の理由により、行政当局の安全性評価方法として「皮膚感作性試験代替法 LLNA: DA の判定基準の変更」に関する提案をするものである。

吉田武美



JaCVAM 評価会議 議長

西川秋佳



JaCVAM 運営委員会 委員長

